

2017年4月11日

京王線・井の頭線

駅のツバメの巣の下にフン受け板を設置します

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、社長：紅村 康）では、ツバメが巣作りをする春から初夏にかけて、駅の設置可能な箇所に、ツバメのフン受け板を設置します。

本施策は、認定特定非営利活動法人バードリサーチ協力のもと、2014年度から実施しています。近年里地里山の減少や巣作りに適した軒下がある日本家屋の減少などにより、ツバメが駅に巣を作ることが増えています。今回の施策は、ツバメのフンがお客様や施設の床に落下し、ご迷惑をおかけしないこと、またツバメの住環境にも配慮した生物多様性施策の一環です。

本年は新たに京王電鉄キャラクターけい太くんをあしらったデザインの板を作成しました。詳細は下記のとおりです。

記

1. ツバメのフン受け板について

(1) 設置期間 4月～7月ごろ（ツバメが巣を作る時期を中心に設置しています）

(2) 設置目的

- ① ツバメのフンがお客様や施設の床に落下することを防止
- ② 里地里山の減少、巣作りに適した軒下がある日本家屋の減少などによって駅にも巣を作る事の多いツバメの住環境への配慮

※駅構内、通行の多い箇所には鳥が入り込まないようにネット等の対策をしています。

※駅の形状、巣の位置によってはフン受け板を設置できない場合があります。

※フン受け板はフンの落下を完全に防ぐものではありません。



《昨年の様子（京王線若葉台駅）》



《フン受け板デザイン》

以上